

## 1 題材名

『え〜〜 !? 900年も続いてきたの !? 妙見大祭 !!』 <4年 社会科 歴史的分野>  
〜ふるさと千葉のお祭りのひみつをさぐろう〜

## 2 授業のねらい

- ①千葉神社のお祭り「妙見大祭」は、なんと約900年近くも続いている千葉市の伝統的なお祭りです。このお祭りは昭和20年（1945年）に千葉空襲があり千葉市街地のほとんどが焼け野原になった時も、途絶えることなく行われてきました。なぜ、この様に絶えることなく長く続けることができたのかを考えます。
- ②妙見大祭が長く続いてきた理由を、妙見大祭はどのようなお祭りなのか資料をもとに学習しながら、キーワードにまとめて考えます。
- ③妙見大祭に関わる人の思いや願いについて、ワークシートに自分の考えをもとに地元のお祭りについて考える契機にしたいと思います。

## 3 指導計画上の位置付け

- ◇学習指導要領社会科4年 内容（4）ア（イ）「県内の文化財や年中行事」と関連します。
- ◇4年社会科指導計画10月単元（9時間）「千葉神社の妙見大祭」の「調べる」活動と関連します。
- ◇千葉市社会科副読本4年「かがやく千葉市」P66～P73 「千葉神社の妙見大祭」と関連した1時間の学習です。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①親子三代夏祭りの動画を提示して何が行われているか読み取り、千葉市にはさらに古い千葉神社のお祭り妙見大祭があることを年表や動画で紹介します。その中から、参加する人々の数・参加する人のはっぴ・神輿の様子等の観点から、どのようなお祭りが読み取ります。
- ②妙見大祭年表から、このお祭りは約900年続いてきたということを知り、太平洋戦争の終わり頃の千葉空襲で街が焼け野原になっても妙見大祭を続けていこうとする人達がいた事実を伝え、なぜこのお祭りを続けていこうとする強い思いを持っていたのかについて疑問を持ちます。
- ③御神輿と神社の神様の関係を理解します。さらに、御神輿が千葉神社から5時間以上かけて地域の各町内を巡り運ばれていくことを資料から読み取り、地域の人にとっての祭りの意味について理解を深めます。
- ④神社の方や地域の方のお話を聞いたり、資料を読んだりして、お祭りを大切にする地域の人の思いやお祭りを支えていこうという願いについて考えます。
- ⑤妙見大祭に関わる人の思いや願いについてワークシートに自分の考えをもとに地元のお祭りについて考える契機にしたいと思います。

### <活用する資料>

- ◎親子三代夏祭りや妙見大祭の動画と写真
- ◎「妙見大祭について」（千葉神社HP資料）
- ◎千葉空襲写真と終戦時の千葉神社の方の新聞記事
- ◎地元には伝えられる祭りの資料
- ◎妙見大祭歴史年表（千葉市副読本）
- ◎「かがやく千葉県」（千葉市副読本）
- ◎千葉神社の方や地元の人のお話

## 5 指導上の留意点、その他

- ◇900年以上も1度も休むことが無く、長く続いてきた千葉市のお祭りを学習することによって、改めて千葉市の歴史や伝統への興味関心を高めていきたいと思います。
- ◇たくさんの人々がこのお祭りをとても大切に思い、これからも続けて行こう、守っていこうという人々の思いや願いにふれて、古くから続く文化や伝統というものについて考えてもらいたいと思います。